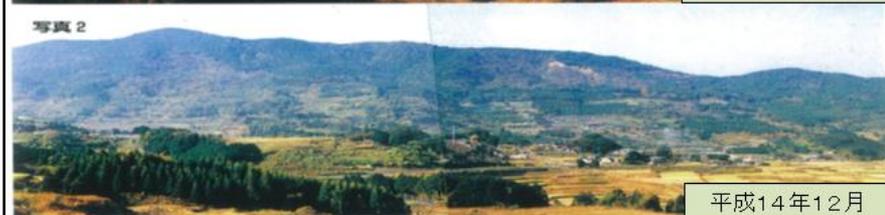
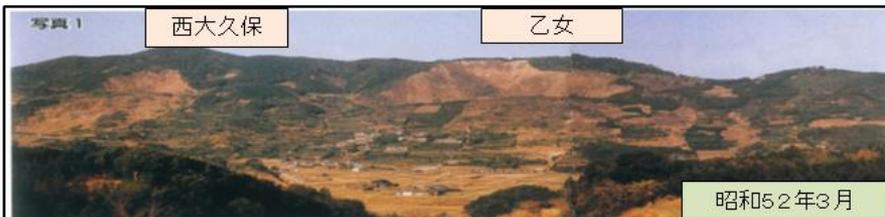


# 53 昭和26年に発生した大災害の記憶を伝える乙女地区地すべり防止事業

## 佐賀県（伊万里市）



昭和26年 乙女地区  
地すべり発生前と被災直後



概成状況（昭和51年度、平成14年度）



乙女地区の現在の現況

位置図



乙女地区概成（平成14年）



対策工平面図



### ○所在場所

佐賀県伊万里市山代町西分字善明 ほか

### ○施設・工法の概要

排水トンネル4本（総延長1,385m）、集水井17基、  
集水ポンプ726本、アンカー工1,132基、杭打工218本、  
排土工96,432m<sup>3</sup>、水路工895m

### ○解説

昭和26年に乙女地区において大規模な地すべりが発生、また、昭和32年には隣接する西大久保地区（人形石山地すべり）でも大規模な地すべりが発生したことから、被災直後、多くの国会議員等の調査視察団が来訪され、「地すべりの惨状を眼のあたりにしてこの悲劇を再び繰り返してはならない」との関係者の努力により「地すべり等防止法」（昭和33年3月31日）が成立したきっかけの一つとなりました。また、「北松型地すべり」の呼称もこの地すべりを機に使用されています。

乙女地区は昭和51年度に概成しましたが、昭和63年に再び地すべりの兆候が現れたため、警戒体制、避難体制の整備を行うと伴に「地すべり対策技術委員会」を開催して地すべり防止工事を実施し、平成14年度に概成しました。